



「生」について見つめ直そう！「生きる」「生かす」「生かされる」

いよいよ今日から2学期です。この夏休みは、皆さんが想像力をはたらかせて「自分の命」を守ってくれて何よりでした。「夏休みにしかできないこと」はできましたか？特に、3年生、「夏を制する」ことができましたか？夏を制した人は、今、「よし、受験まで、まだ半年もある」と感じているでしょう



し、惜しくも誘惑に負けた人は「やばい半年しかない」という感じでしょうが、焦ってしまっは力を出せません。「まだ、これから」と「前向き」に考え、今この瞬間からスタートしましょう。

私もこの夏休み、祭りを見て地域の力を肌で感じ、主催した科学実験観察教室で多くの子どもたちの実験に熱中する姿をうれしく思い、鎌倉や伊勢に行き日本の歴史や文化に浸ってきました。

でも、毎年この時期は、テレビや新聞の戦争の特集を見ながら、改めて「命」について考えさせられます。

終戦から74年、我が国では「死の恐怖」を感じることなく、「安全に生きる」ことが当たり前になり、「生きる」とは、「生」とはということなのか、意識することのないまま、毎日を過ごしているように感じています。そこで、「生きる」「生かす」「生かされる」という三つのキーワードから、「生」について見つめ直してみたいと思います。

まず、「生きる」については、「自分の命を大切に生きる」ということです。

私たちは、一つしかない、かけがえのない命をもって生きています。命を大切に生きるということは、命を粗末にしないことはもちろんのこと、自分のよさを発揮して、「自分らしく生きていく」ということだとも言えます。中学生のこの時期は、よりよく生きるために、自分自身に磨き

をかけ、人間としての誇りを高めるなど、将来の自分づくりの準備をしていく時期であると思います。

次に、「生かす」については、「人のため、社会のために、自分を生かす」ということです。

生徒の皆さんは日頃の学校生活で、学級の日直や委員会活動、部活動など何らかの形で、役割を果たしながら、仲間のために自分を生かしています。

また、将来は当然、職業人として社会に貢献していくことになるわけですが、では、今の生徒の皆さんが「社会のためにできること」は何かと考えると、「あいさつ」「ゴミ拾い」「地域行事への参加」「小学生の学習ボランティア」など、小くても当たり前の行動、いわゆる「凡事徹底」の積み重ねで地域を元気にすることだと思えます。

最後に、「生かされる」については、「自分が生かされていることに、感謝する」ということです。

私たちは人とのかかわり中で、支えられながら、自分のよさや力を生かしてもらい生きていますので、自分を取り巻く家族・友だち・かかわりのある方々に対して、「ありがとうございます」とか、「お陰さまで…」などのように、家庭で、学校内で、地域の中で、感謝の心を声に出し、形に表して



いてほしいと思います。

さて、2学期は、一番授業日が多く、郊外では、中体連の秋季大会、英語暗唱弁論、校内では、体育大会、合唱コンクール、2年生の修学旅行、3年生の進路決定などが行われる学期で、学習面・運動面・文化面、心の面から、自分を成長させていく学期でもありますので、「生きる」「生かす」「生かされる」を意識して、充実した2学期にしていましょ

当たり前のことが当たり前できるように、**凡事徹底** (ほんじてってい) に、学校一丸となって取り組んでいます。

「2分前着席・1分前黙想」

「あいさつ・返事」

「無言清掃・整理整頓」

夏休みの思い出



体育大会結団式



「団色決定」

9/14(土)に開催の令和元年度体育大会の結団式が、8/1(木)に実施されました、実行委員長の大会スローガン「疾風迅雷～最後までつなげ結晶バトン」の発表に続き、団長による「ストラックアウト」対決で、団色がA団(成合団長)が「赤」、B団(平野団長)が「青」

に決定し、学校から団旗が授与されました。その後、各団に分かれ団長、副団長、リーダーの紹介や団顧問、担当職員の発表があり、いよいよ体育大会が動き始めました。主催の実行委員会の皆さんお疲れさまでした。コスチ

ュームあり、実況中継あり、ユニークな結団式でつかみはOKです。「段取り八分、仕事二分」を心がけて大会スローガンを達成してください。



「各団結団式」



学級設営コンクール

1学期末に行われた、文化広報委員会が主催する学級設営コンクールの表彰式が、8/1(木)の全校集会で実施されました。どの学級もきちんと整備され、学級目標や個人目標、学級旗、学担のメッセージ等、学級のカラーが表れ甲乙つけがたく、審査は大変苦労しました。**結果は、全**

校最優秀賞3年4組、学年優秀賞1年3組、2年2組、2年4組でした。この状態をずっと続けてもらいたいですし、欲を言えば普通のロッカーも整理できると思います。



夢 科学実験・観察教室

8/3日(土)、日向高校等でサイエンティスト育成事業「科学実験・観察教室」(県教育委員会主催)が開催され、日向・東臼杵地区の小中学生約300名、本校からも延べ7名参加しました。子どもたちが「科学好き」に、中には「科学者」をめざしてくれることを願って、普段の理科の授業ではできない「液体窒素」や「万華鏡」等の実験が行われ、教室では「おー！」



「ストロー笛製作」

「すごい!」「何で一?」との興味・関心にあふれた声があがっていました。小中学生のうちから科学に限らず、色々な体験をすることで、自分の可能性や進路の選択が広がると思います。



「ドライアイス実験」

夢 地域の祭り

夏休み期間中、各地で祭りが行われましたが、本校区でも規模の大小はありますが、細島みなと祭りや公民館の夏祭りなどが行われました。地域の祭りには誂れ(いわれ)や歴史、地域の人の思いや思い出などが詰まっており、この祭りを楽しみにし、この祭りのためだけに遠方から帰ってくる人たちも多くいるなど、人の心を引き付け、まとめる力があります。ただ、人口減少、少子高齢化により地域が縮小し、祭りの存続が危ぶまれている状況もあります。一度なくなったら復活させるのは容易ではありません。自分の思い出を子や孫の代に引き継いでいくためにも、ぜひ中学生として地域活動に参加するとともに、企画・運営にも積極的に携わってもらいたいものです。



「細島みなと祭り」

力 部活動の活躍

県中学校総合体育大会等、県大会結果



ラグビー部

団体 優勝 ⇒ 九州大会出場

男子ハンドボール部

団体 優勝 ⇒ 九州大会出場

女子バドミントン部

団体 優勝 ⇒ 九州大会出場
個人 シングルス 檜垣2位
⇒ 九州大会出場

水泳

個人 女子400M自由形 黒木2位
⇒ 九州大会出場



女子ハンドボール部

団体 3位

男子バドミントン部

団体 4位
個人 入賞なし

ソフトボール部

団体 2回戦

男子ソフトテニス部

団体 1回戦
個人 入賞なし

女子ソフトテニス部

団体 1回戦
個人 入賞なし

陸上部

個人 入賞なし

剣道

個人 入賞なし

柔道

個人 入賞なし

吹奏楽部

団体 銀賞

九州中学校体育大会結果

ラグビー部

団体 優勝 ⇒ 全国大会出場

男子ハンドボール部

団体 3位 ⇒ 全国大会出場



女子バドミントン部

団体 1回戦
個人 シングルス檜垣 2回戦

水泳

個人 予選



9月の主な行事予定です。

9/1(日)PTA奉仕作業 / 2(月)3(火)課題テスト(1・2年)・実力テスト(3年) / 10(火)総練習 / 11(水)振替休日 / 14(土)体育大会 / 27(金)英語弁論・暗唱大会 / 29(日)地区秋季大会(陸上)

◆◆富島中ホームページ◆◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4601/htdocs/>

でも、学校だより等、学校の情報をご覧ください。

富島中

検索

